

■ シルバーリハビリ体操指導士 3級養成講習会受講者募集！

県が推進する「シルバーリハビリ体操」を普及する「シルバーリハビリ体操指導士」を養成する講習会を実施します。

**応募資格** 満55歳以上(平成21年4月1日現在)で、指導士資格取得後、ボランティアとして地域で活動できる方

**講習日程及び会場**

期 日	時 間	場 所
6月26日(金)	午前9時45分～午後3時45分	県立健康プラザ
6月30日(火)	午前10時～午後3時45分	常北保険福祉センター
7月 3日(金)	午前10時～午後3時45分	常北保険福祉センター
7月 6日(月)	午前10時～午後3時45分	常北保険福祉センター
7月14日(火)	午前10時～午後3時45分	常北保険福祉センター
7月21日(火)	午前10時～午後3時45分	常北保険福祉センター
7月23日(木)	午前10時～午後3時45分	コミュニティセンター城里
7月31日(金)	午前10時～午後3時45分	県立健康プラザ

**募集人数** 30人 (年齢の高い方が優先されます)

**受講料** 無料

**申込期間** 5月15日(金)～29日(金)

**問合せ** 保険課 ☎029 - 288 - 3111 (内線372)

**旅券(パスポート)の  
窓口が変わります**

平成21年6月1日から、旅券(パスポート)の窓口が県パスポートセンターから役場になります。

**場 所** 町民課 (役場本庁舎1階)  
**時 間**

**申請受付:** 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 午前9時～午後4時30分

**交付:** 申請受付時間及び、土曜日 午前9時～正午

**対 象** 城里町に住民登録をされている方

**その他** 交付の際に必要な収入印紙、茨城県収入証紙は会計課で取り扱っています。(平日のみ)

**問合せ** 町民課

☎029 - 288 - 3111(内線112)

文芸しるさと

短歌

クリントン國務長官来日す第一印象は知的美人なりしこと  
 枯芝の中なる緑の幼草根はしつかりと大地に張れり  
 手のひらに乗るほど小さきみちのくの小桜小鉢購ひて旅終ふ  
 孫とするこのゲーム横文字あまたあれば馴染めずたびたび吾は叱らる  
 新聞とテレビとスクーターで日ぐらしす老いて独りも退屈はなし  
 顔上げて立春の青い空見れば小さき悩みみな忘れたり  
 幹黒く肌に「シダ」を生む梅古木百年余庭に清く香り来  
 秋 山 愛 子

俳句

春の堰雨より遅れ増水す  
 手から地へ零るる如くむかご詩く  
 春彼岸岸の肩と並びをり  
 うさぎと料理のいろは路の墓  
 落椿ばかり目につき散歩道  
 春の宵ふるさとの寿司大きかり  
 中学生の竹刀打つ声五月晴  
 山 崎 正 行  
 飯 田 勇 一  
 竹 内 幸 子  
 菊 川 け さ  
 仲 田 ま ち ぶ  
 森 静 江  
 田 所 厚 子

梅散つて桜待つ間を娘は嫁ぐ  
 昼の雨椿の雫大きかり  
 野蒜摘む水の落差の音高し  
 梅を行く寺までの径匂ひけり  
 草の上に山羊どつしりと春の風  
 寡黙なる足跡二人春汀  
 作付けのさまり花種時きにけり  
 青嵐ふはりと軽き羽根蒲団  
 葉に隠れ清らかに開く山桜  
 岩 下 金 司

両の手に溢るるほどのふきの落若々しさを絵手紙に画く  
 油切れたる機械にも似しわが身体再び戻らぬ若き日を恋ふ  
 前山の緑の木陰に鶯の声さわやかに鳴きてなつかし  
 若緑ひ孫「凛君」として新入学の靴音高し  
 しいたけを上り下りして採る山に風にそよぎしカタクリの花  
 雨上がりかすかに浮かぶ谷間から霧の白さに杉の葉光る  
 隅田川土手に座りて眺めれば桜の花で心癒さる  
 目覚むれば夫植へたりし山桜今お盛りと咲き香るかな  
 父母よりも夫よりも齢重ねたり賜ひし生命の切なく重し  
 枝 不 美

川柳

揚げ雲雀声を降らして此よ此よ  
 冬眠の蛙に土のかけなほし  
 婆さんは爺さんよりもクローケー  
 鉄頭前押し車に鉄と鎌  
 いびきかく孫のね顔に母を見た  
 コイノボリ天高く舞い子は育つ  
 道の駅いつもニコニコレジ係  
 山 本 隆 荘

なぜ尖るわたしの心よ丸くなれ  
 まあるくなれよと米を研ぎをり  
 渓谷の岩に樹木に降り積もる雪の山路は南画のごとし  
 静かなる雪の朝なり訪い来にし人の息白し熱を帯びたり  
 駐車せむとやと一席みつけたり人の出に沸く第一観梅  
 その決意かたくなに守りぬき夫に好きな「タバコ」をやめさせし悔ゆ  
 山茶花の垣根の上にて雀らは春樂しむか喋りて止まず  
 咲き初むる赤き木瓜の花部屋に活けて春は来れり我が心にも  
 訂正 広報しろさと4月号14頁、枝不美さんの短歌は、  
 「老梅のいのちかなしも日だまりに花ほろほろとこぼしていたり」の誤りでした。お詫びして訂正します。